

新生児グループ

所属メンバー

- ・長 和俊 (准教授・診療教授、昭和 60 年卒)
- ・盛一 享徳 (助教、平成 9 年卒)
- ・古瀬 優太 (大学院 4 年、平成 15 年卒)
- ・秋元 琢真 (大学院 2 年、平成 15 年卒)
- ・兼次 洋介 (大学院 1 年、平成 16 年卒)

外来患者数 (2011 年 4 月～2012 年 3 月)

小児科新生児外来 685 人/年
産科外来 (1 ヶ月健診) 290 人/年 (ルチンの 3 ヶ月健診中止)

体重区分別新生児数 (2011 年 1 月～12 月) 院内出生分

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	11	2
1,000～1,500g	15	2
1,500～2,000g	16	0
2,000～2,500g	56	1
2,500～4,000g	205	2
4,000g～	0	0
計	303	7

院外出生 NICU 入院児数 2 例

多胎症例数

双胎 16 組 29 例
品胎 2 組 6 例

研究内容

- ・新生児慢性肺疾患の病態解析
- ・新生児慢性肺疾患モデルに対するエリスロポエチン投与の効果解析
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による新生児心不全発症予知
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による双胎間輸血症候群の重症度評価
- ・先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・先天性間質性肺疾患の診断システム開発

著書

1. 長 和俊: 新生児の人工換気. 今日の治療指針 53. 山口徹, 北原光夫, 福井次矢 (編) 医学書院 (東京): 1134-1135, 2011

論文

1. 長 和俊: 呼吸窮迫症候群. Neonatal Care24(5): 452-458, 2011
2. 長 和俊: 新生児 Basedow 病. 小児科診療 74(4): 649-651, 2011
3. 長 和俊: 新生児ループス. 小児科診療 74(4): 645-648, 2011
4. 長 和俊: 胎児肺成熟と羊水検査. 産科と婦人科 78(10): 1223-1229, 2011
5. 長 和俊: 新生児の輸血ガイドライン. 周産期医学 41(9): 1203-1205(2011.09)
6. 小山典久、網塚貴介、奥起久子、川口千晴、白川嘉継、長 和俊、細野茂春: 新生児輸血に用いる院内採血した血液の適正な製造体制・順守基準 日本未熟児新生児学会薬事委員会「新生児の輸血問題小委員会」からの提言. 日本未熟児新生児学会雑誌 23(2), 324-329, 2011
7. 長 和俊: 新生児期の呼吸障害の鑑別. 周産期医学 41(増刊): 534-535, 2011
8. 長 和俊: 上気道病変. 周産期医学 41(増刊): 546-547, 2011
9. 和田和子、平野慎也、本間洋子、佐藤昌司、古賀寛史、和田 浩、今岡のり、長 和俊: 治療拒否は不幸な選択か. 日本周産期・新生児医学会雑誌 47(4): 842-848, 2011
10. 盛一享徳: 妊娠週数が進むにつれて B 型ナトリウム利尿ペプチド濃度は減少しその値は出生後早期の低血圧の発症を予測できる B 型ナトリウム利尿ペプチドと周産期因子との関連. 北海道医学雑誌 87(1), 2012
11. Moriichi A, Cho K, Mizushima M, Furuse Y, Akimoto T, Yamada T and Minakami H: B-type natriuretic peptide levels at birth predict cardiac dysfunction in neonates. *Pediatr Int* 54(1): 89-93, 2012
12. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Sato S, Cho K and Minakami H: Prospective risk of stillbirth: monochorionic diamniotic twins vs. dichorionic twins. *J Perinat Med* 40(3):245-249, 2012
13. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Akaishi R, Koyama T, Takeda M, Nishida R, Cho K and Minakami H: Characteristics of insulin secretion patterns in Japanese women with overt diabetes and gestational diabetes defined according to the International Association of Diabetes and Pregnancy Study Groups criteria. *J Obstet Gynaecol Res* 38(1): 220-225, 2012

14. Morikawa M, Cho K, Yamada T, Yamada T, Akaishi R, Koyama T, Takeda M, Nishida R and Minakami H: Risk factors for postpartum hypertension in women with twin pregnancies. J Perinat Med 40(2): 115-120 2012
15. Yamada T, Yamada T, Morikawa M, Cho K, Endo T, Sato SS, Saito T, Sengoku K and Minakami H: Pandemic (H1N1) 2009 in pregnant Japanese women in Hokkaido. J Obstet Gynaecol Res 38(1): 130-136, 2012
16. Morikawa M, Cho K, Yamada T, Yamada T, Shono R, Koyama T, Takeda M, Nishida R and Minakami H: Relationships between fetal growth and maternal body mass indices, plasma glucose level, and plasma insulin level in Japanese women with mildly impaired glucose tolerance. J Obstet Gynaecol Res 37(12): 1797-801, 2012

学会発表

1. 長 和俊: 日本肺サーファクタント・界面医学会雑誌 42: 1, 2011
2. 兼次洋介: 超低出生体重児 DIC 症例に対するリコモジュリン使用経験. 新生児 DIC フォーラム、札幌、2011/11
3. 兼次洋介: Goldenhar 症候群に総排泄腔遺残症と多発小腸閉鎖症を合併した極低出生体重児の一例. 第 56 回日本未熟児新生児学会、東京、2011/11/13-15
4. 古瀬優太: 生後早期のエリスロポエチン投与は子宮内炎症に伴う新生児慢性肺疾患モデルラットの肺障害の進行を抑制する. 第 56 回日本未熟児新生児学会、東京、2011/11/13-15
5. 盛一享徳: 羊水 B 型ナトリウム利尿ペプチド(BNP)は胎児の出生前の心負荷を反映する. 第 114 回日本小児科学会、東京、2011/8/12-14
6. 兼次洋介: 出生直後から非侵襲的陽圧換気 (NPPV) で管理した先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の 1 例. 第 47 回日本周産期・新生児医学会学術集会、札幌、2011/7/10-12
7. 長 和俊: サーファクテンの用法・用量に関する全国調査結果の報告 (特別講演). 第 19 回神奈川県新生児医療連絡会 (神奈川県 RDS・サーファクタント関連検討会)、神奈川、2011/5/21
8. 長 和俊: RDS に対するサーファクタント補充療法 (シンポジウム). 第 47 回日本肺サーファクタント・界面医学会、徳島、2011/10/29
9. Moriichi A, Cho K, Furuse Y, Akimoto T, Kaneshi Y, Yamada T and Minakami H: Increased B-type natriuretic peptide levels in monochorionic-diamniotic twins with birth-weight discordance. 17th Congress of the Federation of Asian and Oceania Perinatal Societies, Sydney, Australia, 2012/3/18-21

講習会

1. 長 和俊：グラフィックモニターの見方. 第 15 回未熟児新生児学会教育セミナー、安曇野、2011/8/25-27
2. 長 和俊：新生児蘇生法講習会、札幌・天使大学、2011/8/28
3. 長 和俊：新生児蘇生法講習会 A コース、札幌、2011/10/2
4. 長 和俊：新生児セミナー（日本総研）、札幌、2011/9/4
5. 長 和俊：新生児蘇生法講習会 B コース、札幌・北海道大学保健科学院、2011/10/2
6. 長 和俊：新生児蘇生法講習会 B コース、札幌・北海道大学保健科学院、2011/10/2
7. 長 和俊：新生児蘇生法講習会 B コース、札幌・北海道大学保健科学院、2011/10/2

社会貢献

1. 長 和俊：JAICA (フランス語圏) 新生児医療講習会、札幌・北海道大学保健科学院、2012/10/31

学会活動

周産期・新生児医学会

評議員, 周産期シンポジウム運営委員 (長)

日本未熟児新生児学会

理事(長)

日本産婦人科・新生児血液学会

評議員 (長)

日本新生児医療連絡会

役員 (長)

日本臨床モニター学会

評議員 (長)

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事 (長)

日本小児保健学会

評議員 (長)